

事業名	庁舎管理事業（庁舎設備修繕）
-----	----------------

総事業費	18,885 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	財産の有効活用
	基本事業名	施設の適正管理

② 実施 (Do)

事業の意図			庁舎機能を良好な状態に保ち、快適に安心して利用できる環境を保持する。
事業の実績 と 成果	取組内容	庁舎建設後20年近くが経過し、設備類の運転状況や耐用年数から本格的な設備更新時期を迎えており、係で作成した修繕計画に基づき設備類の修繕を実施した。受変電設備修繕について、台風災害により議会棟屋上補修が急遽発生したことにより、次年度に見送ることとした。空調設備については、修繕費の高騰により、おきがる〜むについては室外機位置変更等により対応した。	
	成果	係で作成した修繕計画に基づき個別空調機、吸収令温水器、非常放送設備の修繕を行うとともに、本年度は照明設備のLED化、手摺改修など執務環境の改善にも取り組んだ。また、消防設備点検結果を次年度予算に反映させる仕組みも概ね機能したところである。LED化については、蛍光灯廃棄手数料や電気料にも大きく影響するため、本年度成果が次年度以降に影響すると思われる。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	施設の予防保全・長寿命化の観点からは中規模修繕（機能回復）の時期を迎えており、躯体の劣化状況調査を行った上で、改修する部位の特定を明確にし、長期修繕計画に反映させる必要がある。庁舎外壁塗装については、高額なため先送りしているが、外壁劣化が目視できるほど劣化が進行しており、その他でも、エレベーター更新などの高額修繕も先送りしている状況にある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	庁舎機能を維持していくため必要な経費である。今後も修繕に掛かる費用は増加が見込まれることから、維持経費の節減が見込まれる機種の選定を行うなど、常に研究しながら対応をしていくことが重要である。また、急な故障などによる改修計画の変更がされていることを踏まえ、点検して計画の見直しも行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	修繕活動の早期化を図る。 労働安全衛生上の執務室改修を図る。
-----------	-----------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	馬毛島活用事業	総事業費	0 千円
-----	---------	------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	財産の有効活用
	基本事業名	施設の適正管理

② 実施 (Do)

事業の意図		馬毛島をより深く知ってもらう。馬毛島の様々な価値を知ってもらう
事業の実績 と 成果	取組内容	市長公約である馬毛島活用計画をH29年度に策定し、H30年度に馬毛島体験学習と馬毛島企画展を実施した。市長からは、活用計画のブラッシュアップを求められており、現在、より実現性のある計画策定について課長や係長で構成する馬毛島活用検討委員会において協議を行い、馬毛島の自然や歴史・文化を活かした教育や観光に資する取り組みを行うことで方向性を定めたところである。今後は、馬毛島の様々な情報を提供していくことで、市民の馬毛島に対する関心を高め、利活用に関する積極的な議論がなされるようにしたい。なお、R3年度は馬毛島に活動や調査の拠点となるプレハブを設置し、歴史文化活用係の市史編さん事業と連携し市民に対し馬毛島の魅力化を伝えていく計画である。
	成 果	馬毛島へ渡航し馬毛島の自然や文化的なことを知っていただく体験活動や、馬毛島の歴史や文化・自然などを有識者や元住民から学び、加えて馬毛島の活用策を市民自ら考えてもらう取組みとして馬毛島学習会を開催し、これらについては参加者から好評を得ているところである。なお、馬毛島活用検討委員会を開催し、馬毛島活用について議論し、その方向性について定めることができたことはよかった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	R3年度は、社会教育課文化財係や歴史文化活用係と連携し馬毛島の歴史や文化・自然などの調査を行っていくが、防衛省では馬毛島の環境アセスや詳細検討、ホーリング調査や各種調査等を進めていることから、防衛省の対応次第で、本市が望むような調査ができるか不明な部分もある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	予定していた事業は概ね遂行できたものの、この事業については市民間で多様な意見がある。馬毛島が持つ自然や歴史等について市民に知ってもらう取組は行いつつ、多様な意見にも耳を傾ていく必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	昨年度に課長や係長で構成する馬毛島活用検討委員会において協議を行い、馬毛島の自然や歴史・文化を活かした教育や観光に資する取り組みを行うことで方向性を定めた。今後は馬毛島での現地調査などを行い、馬毛島の様々な情報を提供していくことで、市民の馬毛島に対する関心を高め、利活用に関する積極的な議論がなされるようにしたい。
-----------	---

【参考資料】	
※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明